はじめに

みなさんは「地下世界」と聞いて、どんな世界を思い浮かべますか？

ごつごつとした岩の間に宝石がきらめく闇の世界？　地底人や妖精が住むふしぎな世界？　それとも、空間に張りめぐらされたチューブのトンネルのなかを乗り物が飛び回る未来世界でしょうか。

はるか昔から人類は、身を守ったり休んだりする生活の場として、洞窟や地下を利用してきました。道具や技術が発達すると、石材などの地下資源を採掘（掘り出すこと）し、その跡地を地下都市や共同墓地として活用するようになります。そして現在、地下鉄や地下街、研究所といったさまざまな施設が地下につくられ、わたしたちの足元には、ガス、水道、下水道、電気などのライフラインが埋まっています。地下は、わたしたちの暮らしになくてはならない空間なのです。

この本は、写真やイラストで「地下世界のひみつ」を紹介する、全３巻のシリーズです。第１巻では、数千年も前につくられた巨大地下都市や採掘場跡など、遠い過去からよみがえった地下遺跡のひみつにせまります。

この本に登場するキャラクター



モグまる
モグラ型ロボット。両手のドリルで掘って過去や未来にも行ける。

ダイチ
歴史と鉄道が好き。世界中の地下遺跡を調査するのが将来の夢。

チカ
洞窟や地下トンネルに入るのが好き。いつか地底人に会いたい。

もくじ

第1章　地下都市とインフラ

カッパドキアの地下都市　地中に広がるアリの巣みたいな古代都市！……4

マレシャとベト・グヴリンの洞窟群　地下から見上げる大地の小宇宙……8

イスタンブール地下宮殿　まるで宮殿のような地下貯水池……10

第2章　地下墓地と祈りの場

秦の始皇帝陵と兵馬俑坑　死後も皇帝を守り続ける 粘土でつくられた大軍団！……12

イタリアのカタコンベ　ローマ帝国時代の地下墓地……16

カタコンブ・ド・パリ　600万人が眠る世界最大級の納骨堂……18

コラム　神話・宗教に見る地下世界

日本神話……20　エジプト神話……21　ギリシャ神話……21
ケルト神話……22　北欧神話……22　仏教……23　キリスト教文学……23

第3章　地下資源の採掘場跡

大谷資料館　イベントや映画にも使われる地下の大神殿……24

ヴィエリチカ岩塩坑　塩でつくられた地下礼拝堂……28

足尾銅山観光　トロッコに乗って歴史の探検へ！……30

イスタンブール地下宮殿

まるで宮殿のような地下貯水池



貯水池内部
長さ約140m、幅約70mの巨大な貯水池。ずらりと並ぶ高さ9mの柱は、全部で336本ある。

©Gokhan Dogan / Shutterstock.com

大帝国の首都を支えたおごそかなインフラ

トルコ最大の都市、イスタンブールの地下に広がる貯水池。大理石の柱が並ぶおごそかなようすから、「地下宮殿」と呼ばれています。この貯水池は、いまから1500年ほど前、東ローマ帝国の皇帝によってつくられました。

当時、この街はコンスタンティノープルと呼ばれる東ローマ帝国の首都で、30万～40万人もの人が住んでいたとされます。その人々の生活を支えたのが、約8万トンの貯水量をほこるこの地下宮殿です。現在は見学通路がつくられ、イスタンブールのなかでも人気の高い観光名所になっています。

調べてみよう！



何千年も昔から、いろんな部屋が地下につくられていたなんてびっくりだね！



地下は、雨風や敵から身を守れるほか、温度が一定に保たれていることから、さまざまな目的で利用されてきたんだ。



ほかにはどんな目的でつくられた部屋があるのか、知りたくなったよ！

もっと深掘り！

怪物の頭はリサイクルだった？

地下宮殿の奥には、メデューサというギリシャ神話に出てくる怪物の頭が土台になった柱が2本あります。ふしぎなのは、この頭が横向きや逆さになっていること。怪物の力を封じ込めるためにこのような形にしたという説もありますが、この頭は古い建造物からもってきたリサイクル品で、高さを調節するために横向きや逆さにしたともいわれます。



©Yavuz Meyveci / Shutterstock.com



©Roman Sigaev / Shutterstock.com

第3章 地下資源の採掘場跡

建築物をつくるための石、生命維持に欠かせない塩、生活や産業を支える金属など、地下は大切な資源の宝庫。こうした地下資源を掘り出した跡地を、別のことに使用しているところもたくさんあります。

大谷石地下採掘場跡

地下約30mに広さ約2万平方mの空間が広がる。掘り跡が残る壁や柱に囲まれた内部は、巨大な神殿を思わせる。



大谷資料館

イベントや映画にも使われる地下の大神殿

採掘場跡内部の年平均気温は
およそ8℃なんだって。
夏でも上着が必要だね！

